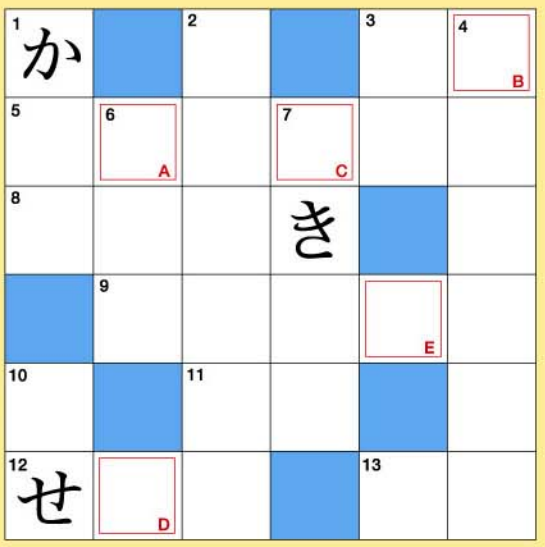
●〈第15回〉ポトムの楽校

クロスワードパズル

正解者には抽選で図書カードをプレゼント！

マス目の中はすべてかなでかいてね。



【タテのカギ】

1　飢えと○○○。水がなくて、のどがカラカラ
2　「フォルミディウム」は植物○○○○○○（３ページを見て）
3　日本一大きな湖「びわ湖」がある県は？
4　この新聞の名前は「○○○○○○新聞」
6　京都の清滝川ぞいにあるもみじの名所。「高雄」または「高尾」と書くよ
7　番付が十両以上のおすもうさんのこと。漢字で「関取」とかくよ
10　スポーツしたり「ヒヤッ」としたとき、かくもの

【ヨコのカギ】

3　カモ○○…といっても、ホントは牛のなかま。奥利根にもいるよ
5　草木ダムはこの川にある（２ページを見て）
8　言うことをきかない。○○○○の強い子！
9　利根川のいちばん奥にあるダム、矢木沢ダムのダム湖の名前は？
11　「バードウオッチング」とは○○を見ること
12　今回の子ども記者はなん人？数字を英語で（１ページを見て）
13　水鳥のなかま。「鴨」と書く

［答え］二重わくの中の字をＡＢＣ順にならべてね。それが答えだよ。
Ａ Ｂ Ｃ Ｄ Ｅ

答えがわかった小・中学生は、住所・氏名・学校名・学年・電話番号・答え（ＡＢＣＤＥ）を明記のうえ、メール・ファクス・はがきのいずれかで送ってね。正解者の中から抽選で20人に図書カード（1000円分）をプレゼントします。

また、この「川の子ども新聞」を読んだ感想（いちばんおもしろかった記事・おもしろくなかった記事）・意見・質問・取り上げてほしい記事なども送ってね。感想や意見などを送ってくれた人にはオリジナルグッズをプレゼントします。

■あてさき
〒371-8666　前橋市古市町1-50-21
上毛新聞社広告局「川の子ども新聞」係
■ファクス／027-254-9904
■メール／http://www.raijin.com/kawaにアクセスして、応募フォームから送信してね（携帯電話からもアクセスできます）
■しめきり／2006年4月10日（月）

QRコード

■前回（第14号）のこたえ

「さ　ー　じ　た　ん　く」

たくさんの応募ありがとうございました。

ポトムのQ&A

どうしてもわからなくて、どうしても知りたいこと、あるんだけど…教えてポトムくん！

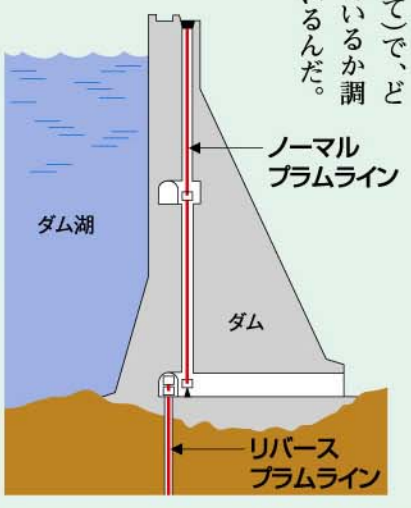
Q 雪どけ水って、どのくらいの量になるの？

A この冬は「豪雪」といって、とてもたくさんの雪がふった。利根川の奥利根流域（面積約1800平方キロメートル）だけで約32億トンもの雪がふったんだ。1平方メートルあたり約1・8トンという、ものすごい量だね。この雪どけ水が利根川に流れこむわけだけど、その前に蒸発したり土にしみこんだりするので、実際にふった雪の量より少なくなるんだ。それでも、利根川の沼田市岩本地点に流れてくる雪どけ水の量は、今年の場合、約12億6000万トンと計算されている。1年間に利根川上流に流れる水の量は埼玉県栗橋地点で約80億トンなので、雪どけ水はそのうちの約16％（ことしの場合）をしめることになるね。それにしても、すごい量だよね。

Q 「ダムは動くことがある」って、ホント？

A 「ダムが動く」…べつに立ち上がったり歩いたりするわけじゃなくて、ダムの水をせきとめる「堤体」が前後にかたむくことがあるという意味なんだ。「えっ？　あんなに大きなものが！」と思うだろうけど、ダム湖にはものすごくたくさんの水をためておけるので、その水の重さにおされて、堤体は下流側にかたむく、逆に水が少なくなれば、上流側にかたむくというわけなんだ。それから、地震のときも堤体は動くことがある。それで「プラムライン」（３ページを見て）で、どれだけ堤体がかたむいているか調べて、安全をたしかめているんだ。

「プラムライン」には、ダムの堤体の中にある「ノーマルプラムライン」と、ダムの底から地面の中にかけてある「リバースプラムライン」がある んだよ。



お知らせ

●利根川ダム資料館からのお知らせ

4月から新学年。資料館も新しく生まれ変わったよ！

●シアターの映像がふえた！
水の問題をテーマに3～5分のショートストーリーが3本ふえたよ。

●PCクイズが新しくなった！
タッチパネル操作になり、問題も新しくなったよ。
ほかにも新しい機械・展示物がふえたので、学校の総合学習で役立ったり、家族やともだちといっしょに来ても楽しめるよ！

●利根川ダム資料館あんない図
前橋市元総社町593-1　☎027-251-2272
開館時間／9:30～16:30　入館無料
※土・日・祝日も開館しています。

※読者のみなさんから提供していただいた個人情報は、プレゼント当選者への発送や子ども記者当選者への連絡用として使用させていただきます。それ以外の「目的外利用」はいたしません。

第16号の子ども記者を募集します。

きみも記者になってみよう！

「ぼくも（わたしも）記者をやってみたい！」。そんな小・中学生は、上のクロスワードパズルの応募といっしょに**「子ども記者参加希望」**と書いて送ってね。希望者が多いときは抽選します。どんな取材をするのかについては、あとで本人に連絡するね。

〈次号の発行予定〉
「川の子ども新聞第16号」は2006年7月下旬に発行する予定です。

「川の子ども新聞」編集委員会
群馬県小学校中学校教育研究会小学校理科部会　前橋市立領小学校教諭　塩澤　巻浩
群馬県小学校中学校教育研究会小学校社会科部会　前橋市立二之宮小学校教諭　薊　隆志
ＮＰＯぐんま代表　熊倉　浩靖
民俗学研究者　板橋　春夫
国土交通省利根川ダム統合管理事務所長　仲川　博雄